



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

お互い「精一杯」... 事務長 山床良広

国における教育の在り方や今後の方向性等を審議する場として、中央教育審議会という文部科学大臣の諮問機関があり、数年前から「チーム学校」ということが議論されてきました。

私が鶴丸高校に勤務して二年目になりました。本校の場合、生徒の皆さん一人一人が力をつけて成長するように、日々真剣に取り組んでいらっしゃる先生方、GO鶴セミナーや各種行事の開催等に、労を惜しまずに協力してくださる同窓会の先輩や保護者の皆様方。また、皆さんが健康で元気に活動できるように配慮して下さるスクールカウンセラーや学校医・学校薬剤師の先生方、進路の講演等を行って下さっている大学の先生方など、多くの方々が生徒の皆さんの成長に対して深い思いを持って関わってくださっています。

百二十有余年の本校の歴史において、これまでの教育活動に多くの方々から従事され、「チーム」としての確固たる充実した教育活動の体制が構築されていることを実感しています。

また、生徒の皆さんも、入学式や卒業式の各種式典等において、本校行事での格調の高さや永年の歴史が築いてきた伝統というものを肌で感じていることと思います。本校での三年間において、皆さんが目指す栄冠を勝ち取るためには、楽しい日々ばかりでは無く、悩み苦しむこともあることかと思ひます。

先日、今年のノーベル賞の受賞者が発表されましたが、四年前にiPS細胞の研究でノーベル生理学・医学賞を受賞され、現

在京都大学iPS細胞研究所長の山中伸也氏が自伝で、次のようなことを書いておられます。山中氏は研修医時代、「お前はほんまに邪魔や。ジャマナカや」と言われつつ壁にぶつかつたこともあったが、その後、アメリカでの研究所時代に当時の所長が言われた教えが心に響いたそうなんです。

その教えとは「研究者として成功する秘訣はVWだ。VWさえ実行すれば、君たちは必ず成功する。人生にとって大事なことはVWだ。VWは魔法の言葉だ。」です。

Vはビジョン、Wはワーク（しかもハードワーク）、つまり将来の構想を持って精一杯「働く」ことが成功には不可欠なことを、その所長は言われたのです。

勉強のみならず、体育祭、文化祭等の学校行事や部活動など、何事にも一杯に取り組んでいる生徒の皆さんの活動の様子を見て、この本のことを思い出しました。現在の生徒の皆さんには、「働く」が「学ぶ」でしょうか。

シンドレラ階段横の卒業記念の碑に校歌の一節が「いよいよに栄光（ひかり）あれかし」と刻まれ、毎日、皆さんにエールを送っています。

無限大の可能性を秘めた生徒の皆さんが、本校で精一杯学び、有意義な悔いの無い時を過ごして、卒業時には各自で栄冠をつかみ、将来、「For Others」の精神をもって、各界で大いに活躍するような人材となることを、多くの方々から願っています。

また、私たち事務室の職員も、生徒の皆さんが日々、勉強や部活動に精一杯取り組んでいる様子や、甲鶴戦や体育祭などで一喜一憂する姿を見たり、皆さんからの爽やかな挨拶で、元氣と仕事への意欲をもらっています。

これからも「チーム」の意識を強く持ちながら、生徒の皆さんが日々、安全で気持ち良く効果的に教育活動が展開できるように環境づくりに努め、活動を精一杯サポートしていきたく思っています。生徒の皆さん、各自の大きな目標の達成に向かって精一杯頑張ってください。

この他にも「チーム」の意識を強く持ちながら、生徒の皆さんが日々、安全で気持ち良く効果的に教育活動が展開できるように環境づくりに努め、活動を精一杯サポートしていきたく思っています。生徒の皆さん、各自の大きな目標の達成に向かって精一杯頑張ってください。



写真は本校事務室の仕事風景。

11月の行事予定

11月		食堂
1 火		○
2 水	ロードレース大会説明会(7限)	○
3 ㊥	文化の日	×
4 金		○
5 ㊤	悠学講座⑤ 3年進研マーク	×
6 ㊦	3年進研マーク	×
7 月	全校朝会	○
8 火	ロードレース大会(1,2年) 3年実力考査(1日目)	×
9 水	3年実力考査(2日目)	○
10 木		○
11 金	1~6限40分, 7限45分授業	○
12 ㊤		×
13 ㊦		×
14 月	学年朝会 集団読書(1,2年)	○
15 火		○
16 水		○
17 木		○
18 金	中掃除	○
19 ㊤	悠学講座⑥	×
20 ㊦		×
21 月	全校朝会	○
22 火		○
23 ㊥	勤労感謝の日	×
24 木		○
25 金		○
26 ㊤		×
27 ㊦		×
28 月	卒業考査(1日目)	○
29 火	卒業考査(2日目) 中間考査(1日目)	×
30 水	卒業考査(3日目) 中間考査(2日目)	×

「鶴丸、咆哮。」

第六十八回 文化祭

十月八日、今年度の文化祭が開催されました。キャッチフレーズに選ばれたのは「鶴丸咆哮」。猛獣が雄叫びをあげるように、鶴丸生が文化の気炎をあげる姿が目に見えます。

前日の準備の段階から、展示発表の教室や体育館ステージは華やかに飾られています。そして、当日。生徒たちが体育館に詰めかけると、充ち満ちたエネルギーが一気に弾けます。開会式に続き、放送部が恒例の「からいも語講座」を発表。そして、二年生がクラス劇を披露します。音楽部やダンス部、書道部も日頃の練習の成果を發揮し、観客も体育館の熱気そのままに声援を送っていました。



【上】文化祭では、第二生徒館3階の悠久館も公開されました。悠久館は、11/1~7の「かごしまの教育県民週間」でも公開されます。



【右】物理部の展示の様子。



く發揮した後、各学年主任から生徒たちに熱いメッセージが送られました。展示会場も熱気を帯びていたようです。古典研究、文化研究、風俗研究など、クラスの個性を生かした研究の成果を、観客のみなさんも興味深げに観覧していました。

模擬選挙を体験

生徒総会・後期生徒会長選挙

十月十九日、後期の生徒会長を決める生徒会長選挙が行われました。今回の選挙は、鹿児島市選挙管理委員会のご協力です。実際の選挙で使われる投票箱と投票記載台を使用して

投票を行いました。生徒会長選挙に先立って行われた選挙についての出前授業では、鹿児島市選挙管理委員会の方が、実際の選挙がどのように行われるかを詳しく説明してくださいました。続いて立会演説会が行われ、ただ一人の立候補者、大内山辰志くん(現生徒会長・二年)が演説を行いました。

投票は大内山くんの信任投票。実際の投票箱や記載台を前に、緊張した面持ちの生徒たち。全員が無事に投票を終え、即日開票。開票の結果、大内山くんの再選が決まりました。

選挙年齢が十八歳に引き下げられ、三年生の一部には選挙権をもつ生徒もいます。また、一、二年生でも数年後にくる初めての選挙。権利を放棄することなく、主権者として、自分の一票の重みを感じ続けてほしいものです。

生徒総会では、会務報告等について、恒例の第三号議案で週番活動について話し合いました。生徒たちの学校生活に深く関わる週番活動の充実を訴える多くの意見が飛び交い、活発な話し合いがなされました。三年生にとっては最後の生徒総会でしたが、三年生から後輩たちに対して、多くのメッセージが残された生徒総会でした。

生徒総会の様子。自分の意見を大勢の前で堂々と述べます。

お知らせ

十一月十四日(月)は、集団読書の日です。

今回の課題図書は、井上ひさし『四十一番目の少年』(文春文庫)です。秋の夜長に、鶴丸の生徒と同じ本を読んでみませんか？